第 1 講　【古代編】世界の古代文明

PART3 古代オリエント文明 2

Chapter1　古代エジプト文明と王朝

目標
古代エジプトの各王朝の特徴を理解しよう。
新王国時代におこった宗教改革について学ぼう。

1　エジプトの古代王朝

ナイル川の灌漑農業によって豊かな農耕文化が成立。→「**エジプトはナイルのたまもの**」
やがて治水事業の統制と共同管理から生まれた強い支配者が，ナイル川流域にあった多数の集落（ノモス）を統一。

前 3000 年頃　〔　　　　　　　　　〕と呼ばれる王による統一国家が誕生
以降，約 30 の王朝が交代しながら統一を保つ

前 27〜前 22 世紀　〔　　　　　　　〕時代
首都：**メンフィス**　クフ王らが巨大な**ピラミッド**を建設

前 21〜前 18 世紀　〔　　　　　　　〕時代
首都：**テーベ**　末期にシリア方面から遊牧民の〔　　　　　　　　　〕が侵入し，一時支配を受ける

前 16〜前 11 世紀　〔　　　　　　　〕時代
再統一。シリアへ進出しミタンニ王国・ヒッタイトとも抗争

古代エジプトの地図

2　エジプトの社会と文化

①宗教

動物神への盛んな信仰と多神教・一神教のおこり

A　**古王国時代**　ファラオは主神の太陽神〔　　　　〕の化身として絶大な権力を持つ
→**ピラミッド**建設

B　**中王国時代**　首都テーベの守護神アモンが主神となる

C　**新王国時代**　アモン信仰と結びついたアモン＝ラーの信仰が盛んになる。来世信仰により，**ミイラ**を作成し，死後の世界のために〔　　　　　　　〕を残す

※来世での幸福を祈ってミイラとともに埋葬された絵文書。

〔　　　　　　　　　　　　　　　〕（在位前14世紀中頃）の宗教改革

→強力になった神官勢力を嫌ってテル＝エル＝アマルナに遷都し，従来の多神教から**アトン**を唯一神として，みずからを**イクナートン**と称した。改革は王の死により挫折したが，古い伝統にとらわれない写実的な**アマルナ美術**を生んだ

②文化

A　象形文字で神殿・墓に刻まれる〔　　　　　　　〕（ヒエログリフ）と草からつくられた〔　　　　　　　〕に書かれた民用文字（デモティック）

ヒエログリフ

※18世紀末のナポレオンのエジプト遠征中，**ヒエログリフ・**デモティック・ギリシア語の３種類で書かれた文章が刻まれた**ロゼッタ＝ストーン**が発見された。
フランス人の**シャンポリオン**がヒエログリフの解読に成功した。

B　**測地術→**幾何学の起源

C　**太陽暦→**ローマ時代のユリウス暦のもと

まとめ

古王国はピラミッドが特徴的。中王国はヒクソスの侵入で滅亡し，新王国はアメンホテプ４世が宗教改革を行ったことが特徴。
新王国時代にアメンホテプ４世により多神教からアトンのみを信仰する一神教がおこった。

Chapter2　地中海とエーゲ文明

目標
エーゲ文明を分類してまとめよう。
クレタ文明とミケーネ文明にはどのような違いがあったのだろうか。

1　クレタ文明

前 3000 年頃からギリシアの東地中海沿岸を中心に〔　　　　　　　　〕文明が栄える

　→オリエントの影響でおこった**青銅器文明**の総称

　→前 2000 年頃からエーゲ海最大のクレタ島を中心に栄えた〔　　　　　　　〕文明

①城壁がない壮大で複雑な構造で建てられた〔　　　　　　　　　　　　〕の宮殿

②海洋民族（民族系統不明）らしいのびやかな彩色壁画

　→宗教的権威を持つ王による統治

　※ 20 世紀初めにイギリスの考古学者**エヴァンズ**が発掘してクレタ文明を発見。

クノッソスの宮殿

2 ミケーネ文明

①前 1600 年頃からギリシア本土に**ギリシア人**が築いた〔　　　　　　　　〕文明

※ギリシア人は前 20 世紀頃から南下してきたインド＝ヨーロッパ語系の民族。

A　堅固な巨石による城塞宮殿を中心とした小王国

→ミケーネ・ティリンス・ピュロスなど小王国に分立して抗争

※ 1952 年にイギリス人建築家**ヴェントリス**が線文字Ｂ文書を解読したことにより，専制的な王が役人組織を使い，農民から農産物などを貢納させていたことが判明。

B　前 15 世紀にクレタ島を支配

②アナトリアの古代都市**トロイア**にまで進出

※ 19 世紀後半にドイツの考古学者〔　　　　　　　　〕の発掘によって

ミケーネ文明とトロイア文明の存在が証明された。

ギリシアの古代文明

まとめ

エーゲ文明はクレタ文明とミケーネ文明に分けられる。
クレタ文明はエヴァンズの発掘やクノッソスの宮殿が特徴の平和的な海洋文明で，ミケーネ文明はシュリーマンの発掘や，線文字Ｂ，巨石の城塞が特徴である。

第 1 講　PART3　確認問題

1 エジプト古代王朝の古王国時代に，王（ファラオ）の権威を示すためにつくられた建築物は何か。

① ダム　② 宮殿
③ ピラミッド　④ ジッグラト

2 新王国時代に従来の多神教から一神教にする宗教改革を行った王はだれか。

① クフ王　② アメンホテプ４世
③ ラメス２世　④ ツタンカーメン

3 エジプトの来世信仰により，死後の世界のために書かれ，ミイラとともに埋葬された文書は何か。

① 死海文書　② アマルナ文書
③ ヒエログリフ　④ 死者の書

4 18 世紀末のナポレオンのエジプト遠征中に発見されたロゼッタ＝ストーンに刻まれたヒエログリフの解読に成功したのはだれか。

① シャンポリオン　② エヴァンズ
③ ヴェントリス　④ シュリーマン

5 エーゲ海のクレタ島を中心に栄えたクレタ文明を象徴する宮殿は何か。

① バチカン宮殿　② パルテノン神殿
③ クノッソスの宮殿　④ トプカプ宮殿

6 前 1600 年頃からギリシア本土にギリシア人が築いた文明は何か。

① メソポタミア文明　② ミケーネ文明
③ オリエント文明　④ エーゲ文明

7 巨石城塞を発掘してミケーネ文明を証明したのはだれか。

① シャンポリオン　② エヴァンズ
③ ヴェントリス　④ シュリーマン

8 エーゲ文明を代表する 2 つの文明で，かつ城壁のない宮殿などが特徴的である文明は何か。

① オリエント文明　② ミケーネ文明
③ クレタ文明　④ メソポタミア文明

第 1 講　PART 3　確認問題 解答

1 解答：③　前 27～前 22 世紀の古王国時代，強大な王権の象徴として巨大な**ピラミッド**を建設した。

2 解答：②　**アメンホテプ 4 世**は強力になった神官勢力を嫌って宗教改革を行った。

3 解答：④　古代エジプト人は来世信仰によってミイラを作成し，死後の世界のために「**死者の書**」を残した。

4 解答：①　ロゼッタ＝ストーンに刻まれたヒエログリフは，1822 年にフランス人の**シャンポリオン**によって解読された。

5 解答：③　クレタ島を中心に栄えたクレタ文明を象徴するのは**クノッソスの宮殿**である。

6 解答：②　**ミケーネ文明**は，南下してきたギリシア人によってギリシア本土に築かれた。

7 解答：④　**シュリーマン**はドイツの考古学者で，ミケーネ地方やトロイアを発掘してホメロスの叙事詩の史実性を証明した。

8 解答：③　**クレタ文明**は城壁を持たない宮殿や明るい色調で描かれた壁画などが特徴であるとされている。